

「なら四季彩の庭」づくりを進めます。

奈良県植栽計画（「なら四季彩の庭」づくり）を推進し、**四季の彩りが感じられる植栽景観**の整備を進めます。

関連予算 H30:20百万円(H29:27百万円)

平成30年度の主な取組

- 四季を通じて彩り豊かな植栽景観を向上させるための植栽計画を推進
 - ・(新)エリア別ワーキンググループの設置・運営、景観創造推進本部彩りづくり部会の運営等
- 植栽等により景観の向上に取り組む市町村や地元団体等を支援
- 「なら四季彩の庭」シンボルマークを使用したプレートの設置
- ジャーナルや県ホームページで、植栽計画の整備内容や進捗状況を発信



「なら四季彩の庭」のプレート



ジャーナルの発行

【植栽等による景観の向上に向けた取組事例】



竹林伐採と植栽による植栽景観の向上(奈良市水上池)

【植栽計画のエリア：54エリア】

- 平城宮跡、大宮通、矢田丘陵、郡山、大和三山、王寺、馬見丘陵公園、信貴山・大門ダム、室生、曾爾、吉野山、吉野川沿、天川・洞川、上北山、下北山、十津川・玉置山、野迫川 等

奈良県経済の好循環を促進し、働きやすく、良く学べる地域社会をつくりまします。

企業誘致に向けた**工業ゾーン**の創出を進めます。

県内経済活性化のために、更なる企業誘致のための新たな産業用地の確保に向けたプロジェクトを推進します。

関連予算 H30:75百万円(H29:93百万円)

平成30年度の主な取組

京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺工業ゾーンプロジェクト

- 京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺において、産業集積地を形成するため、事業用地の取得及び造成工事の推進等を実施



御所インターチェンジと産業集積地予定地

京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺工業ゾーンプロジェクト

- 企業立地の魅力が高まる京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺において、関係市町村と県が連携して工業ゾーン創出に向けた取組を実施
 - ・企業及びデベロッパーの誘致促進
 - ・工業ゾーン用地確保のための耕作放棄地再生
 - ・特定農業振興ゾーンの設定支援



企業立地の魅力が高まる京奈和、西名阪自動車道周辺

国内外への販路拡大を図ります。

県際収支の赤字体質からの脱却を図るため、国内外へ積極的に移輸出する企業の輪が広がるよう支援施策を展開するとともに、県内企業の海外展開をサポートするため、**日本貿易振興機構(ジェトロ)奈良県事務所**を誘致し、**平成30年秋頃の開設**を目指します。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:113百万円(H29:97百万円)

海外への販路拡大

- (新)ジェトロ奈良県事務所の誘致
 - ・県内企業が海外への販路開拓について身近で相談しやすい環境を整備
(開設時期:平成30年秋頃、開設場所:奈良市内)
- 海外への販路開拓・支援
 - ・製造業:海外の展示会への出展支援
 - ・県産農産品:海外見本市への出展
 - ・県産材:海外の建築関係者等とのマッチング支援 等

JETRO
日本貿易振興機構(ジェトロ)



海外見本市への出展



海外の展示会への出展

首都圏等国内への販路拡大

- (新)奈良県優良製品の発掘・販路拡大
 - ・マーケティング講座の開催、大規模商業施設等での展示販売会
- とこのもりを活用した県産農産物の認知向上・ブランド力強化
 - ・「食」と「魅力」の発信イベント、プレスツアー 等
- 首都圏での販路拡大・支援
 - ・製造業:首都圏SPA(企画・製造・小売)実践支援
 - ・県産農産品:奈良まほろば館等での試食販売
 - ・県産材:建築関係者へのセールス活動 等

新商品・サービス創出に向けた研究開発支援を進めます。

付加価値が高く産業競争力のある新しい商品やサービスの創出に向けて、県内各公設試験研究機関が保有する情報の共有化や、制度融資による金融支援等を行い、県及び企業の研究開発を進めます。

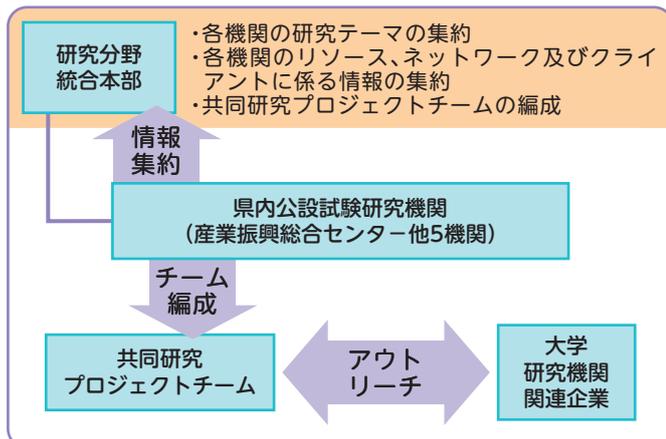
平成30年度の主な取組

関連予算 H30:17百万円(H29:11百万円)

(新)研究分野統合本部の設置

- 研究分野統合本部を設置し、県内各公設試験研究機関が保有する情報の共有化と連携により、産業化につながる研究開発を推進

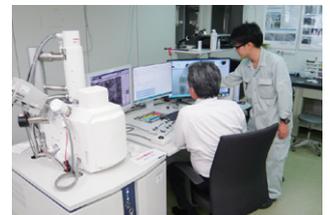
【研究分野統合本部イメージ】



(新)研究開発への金融支援(制度融資)

- 新製品や新サービスの提供等に向け、実証研究や試作品製造等の研究開発を行う中小企業者を支援
 - ・貸付枠:5億円
 - ・貸付利率:0%
 - ・資金使途:運転・設備資金
 - ・保証料率:0%
 - ・貸付限度額:5千万円
 - ・貸付期間:15年
(うち5年据置)

- 研究成果の技術移転促進コーディネーターの設置
- 産業振興総合センターでの研究開発等



産業振興総合センターが保有する研究機器
(左:引張圧縮試験機、右:電子顕微鏡)

あらゆる離職者への再就職支援・職業訓練を進めます。

再就職支援窓口の充実や離職者の特性に応じた個別の支援等により、あらゆる離職者への再就職支援・職業訓練を行います。

関連予算 H30:577百万円(H29:576百万円)

平成30年度の主な取組

再就職支援窓口の充実

- 県庁版ハローワークの運営
 - ・しごとiセンター(奈良・高田)に「しごとマッチングアドバイザー」を配置、就業相談員によるカウンセリングを実施等
- 県内就労あっせん・起業支援センターの運営
 - ・県内中小企業への高度専門人材の就労あっせん及び起業支援を実施 等
- 公共職業訓練、インターンシップ、職業体験・実習の実施
 - ・高等技術専門学校における効果的な職業訓練の実施 等



就業相談員による
カウンセリング



高等技術専門学校に
おける職業訓練

離職者の特性に応じた個別の支援

- 高卒離職者への支援
 - ・(新)再就職支援教員を配置
 - ・(新)離職原因に関するアンケート調査を実施 等
- 若年無業者への支援
 - ・地域若者サポートステーションによる相談支援 等
- 障害者への支援
 - ・障害者就業・生活支援センターによる支援 等
- 高齢者への支援
- 矯正施設出所者への支援



地域若者サポートステーションに
よる支援



高齢者の就労

県庁職員の働き方改革を推進します。

テレワークやフレックスタイム制などの多様な働き方の推進、超過勤務の縮減・効率的な業務運営等の実施により、県庁職員の働き方改革を推進します。

関連予算 H30:184百万円(H29:50百万円)

平成30年度の主な取組

県庁職員の働き方改革

- 多様な働き方の推進
 - ・テレワークの推進((新)本庁周辺サテライトオフィスの増設、モバイルワークの本格導入)
 - ・フレックスタイム制の推進
- 超過勤務縮減・効率的な業務運営
 - ・全庁的な超過勤務縮減対策
 - ・(新)業務改善スキル習得・発揮研修の実施
 - ・(新)業務効率化推進事業の実施
- 外部委託の推進
 - ・定型的業務の外部委託化
- メンタルヘルス対策
 - ・(新)職場のストレス要因を分析し、職員参加で改善
 - ・(新)チェックシートや申告書を活用した早期発見 等

教職員の働き方改革

- 教員が子どもと向き合う時間の確保
 - ・(新)部活動指導員の配置
 - ・(新)教職員の働き方改革の取組の実践研究



部活動の指導の様子

県立医科大学における働き方改革

- ワークライフバランスの充実強化
 - ・医療勤務環境の改善に関する検討
 - ・(新)出退勤管理システムの導入

教育予算の充実を図ります。

平成30年度税制改正で実現した**地方消費税清算基準の見直し**により、平成30年度予算で**36億7千万円の増収**(うち18億4千万円は市町村に交付)になりました。その増収分を教育予算の充実という形で**県民の皆様**に還元します。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:2,126百万円(H29:1,517百万円)

県の取組

- **全ての県立高校で空調設備の設置**を実現
 - ・県立高校の空調設備を整備
 - ・(新)育友会等設置分の運転費用を県で負担
- **県立高校の耐震化**を速やかに実施
 - ・耐震補強を平成33(2021)年度を目処に完了
 - ・(新)耐震補強が難しい校舎等の改築に着手
- **私立高校等授業料**に対する支援の拡充
 - ・私立高校等の授業料に対する支援について、本県の実情を踏まえ拡充



空調設備設置教室での授業の様子

市町村の取組

- 市町村立小中学校の空調設備の整備、老朽化に伴う大規模改修、トイレ改修等



県が市町村振興資金の貸付により後押し



耐震化の完了した校舎

県立大学の教育環境を充実強化します。

地域課題に主体的に取り組む人材や国際社会で活躍する人材の育成、**奈良県の観光産業を担う専門人材**の育成を推進するなど、奈良県立大学における教育改革を加速します。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:735百万円[債務負担行為1,080百万円]
(H29:378百万円)

- 国内外における「フィールドワーク」先を充実させ、地域課題に主体的に取り組む人材を育成
- 欧米系海外大学等交換留学協定先の更なる開拓により、国際社会で活躍する人材を育成
- 「対話型少人数教育(コモンズ制)」を推進するとともに、拠点となる「コモンズ棟」等を整備
- 奈良県の観光産業を担う専門人材の育成を推進
 - ・実践的なカリキュラムを検討
 - ・社会人が大学で学び直すための「フレックスコース(仮称)」の設置を準備 等

【施設整備基本計画に基づく整備イメージ】

